

第 38 回横浜マリンボールカップ 女子Cゾーン決勝 8月 6 日 (日)
横浜市南部連盟選抜チーム 29vs34 逗子コスモスミニバスケットボールクラブ

1Q

両チームともハーフコートのマンツーマンでゲームが始まる。南部選抜は#6のドライブを起点として攻撃のペースを掴もうとするが、シュートがなかなか決まらない。逗子は、#4のドライブから周りの選手への合わせのプレイがきれいに決まり、確実に点を伸ばす。5-10 逗子リードで第1Q終了。

2Q

南部選抜はハーフコートのマンツーマン。逗子はオールコートマンツーマンでゲームが進む。逗子は、#7の鋭いドライブからのレイアップシュート、ゴール下でリバウンドからファウルを誘いどんどん点を伸ばしていく。対する南部選抜は、パスがうまくつながらず、点差を縮めることが出来ない。13-24 逗子リードで前半終了。

3Q

南部選抜は、点差を縮めるためにオールコートマンツーマンへ変更、逗子はハーフコートマンツーマンでゲームが進む。南部選抜は、#4から#18の高さを生かしてポストプレイで点を決める。逗子は、#4がボールを運び、フロントコートに入るとアイソレーションで#4の独壇場。フロントチェンジから左右にフェイクをかけ、南部選抜のディフェンスを何人も抜き去る。南部選抜はパスカットをよく狙い、速攻につなげるが肝心なシュートが決まらず苦戦する。23-30 逗子リードで3Q終了。

4Q

両チームとも3Qとメンバーは変わらず、オールコートマンツーマンでゲームが始まる。逗子#4の疲れを感じさせないドライブインからのシュートが次々決まる。南部選抜も果敢にインサイドへ切り込むが、逗子#4・#7のシュートブロックに阻まれ、なかなかシュートを決めさせてもらえない。終始、逗子ペースのまま、29-34 逗子コスモスミニバスケットボールクラブが初出場・初優勝を飾った。

